

2020 年度 奨学生入学試験

国 語

(試験時間 60分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、29ページあります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～12)に答えなさい。

① 「犬は夜のあいだ何もしなかったんだが」というグレゴリー^注警部の言葉にたいして、シャーロック・ホームズは「それがふしぎな事実だということです」と注意する。事件の鍵は、ある事実が存在していることにあるのではなく、ある事実が存在していないことにあるのである。

1

② いま、わたしの机の上に二冊の本がおかれている。つい最近日本語に翻訳されたばかりの『インド⇨ヨーロッパ諸制度語彙集』の巻Iと巻II(前田耕作カンシユウ、蔵持不三也ほか訳、言叢社)である。この書物の原著者の名はエミール・バンヴェニスト、二十世紀最大の言語学者のひとりである。じつはわたしは、この言語学者にシャーロック・ホームズばりの名探偵を演じてもらおうと思っているのである。

③ 「a」、この事件イライは、あの名馬銀星号の失踪事件とはなんのかわり合いもない。わたしがこの言語学者に説明してもらいたいのは、モノの売り買いによってなりたっている「商業」という経済活動の出生の秘密についてなのである。

2

④ 「売る」ことと「買う」こと。一方はひとにモノを「与える」ことであり、他方はひとからモノを「受ける」ことである。われわれにとつて、これほどはつきり対立した意味をもつ事柄はない。もしこの二つを混同してしまうと、泥棒がサギ師として手に縄がかかってしまうはずである。

⑤ だが、名探偵バンヴェニストの最初の仕事は、この「与える」と「受ける」という正反対の行為を表現するインド⇨ヨーロッパ族内の言葉にかんして、ひとつの奇妙な事実が存在していることにわれわれの注意をうながすことから始まるのである。一

般にインド⇨ヨーロッパ語においては、一方の「与える」という行為は *do-* という語根をもつ言葉によって表現されている。たとえば英語の *donation*、フランス語の *don*、ラテン語の *donum* あるいはサンスクリット語の *danam* といった言葉はすべて「贈与」という意味をもっている。だが不幸にして、この一般的と思われてきた規則にはひとつの例外が存在しているのである。それは、同じインド⇨ヨーロッパ語族に属するヒッタイト語において *da-* という基本的には同一の語根がもう一方の「受けとる」という行為を意味しているということである。

⑥ 同じ起源をもつ言葉が二つのまったく正反対の意味をもっているというこの矛盾。【b】、われらがバンヴェニストは、ながらく言語学者を悩ませてきたこの矛盾にたちまちつぎのように鮮やかな解決をあたえてくれるのである。【c】この一見した矛盾こそひとつの歴史的な事実にはかならない、とかれは推理する。遠い記憶のあなたの古代の共同体において、「与える」ことは同時に「受けとる」ことをも意味していたのだ、というのである。

⑦ バンヴェニストがあたえてくれたこの解決は、じつはマルセル・モースが『贈与論』のなかで発見した「古代的な交換形態」というものの言語学の立場からの再発見にほかならない。よく知られているように、モースは、たとえばマオリ族(注)において、贈られたモノのなかには返礼を怠る受けとり手を殺してしまう魔術的な力が吹き込まれていると信じられていることを指摘する。ひとにモノを贈ることは、それゆえ、受けとる側にならず返礼の義務を負わせることになり、一方からの贈与と他方からの返礼とのあいだのはてしない繰り返しがひきおこされることになるのである。モースは、古代的な共同体とは、このような互酬的交換によってかたちづくられる社会関係の総体として理解しようと主張したのである。与えることが受けとることもあり、受けとることが与えることでもあったこの古代的な交換形態の痕跡を、バンヴェニストはインド⇨ヨーロッパ語の *da-* という語根をもつ言葉の両義性のなかに見いだしたというわけである。

3

⑧ もっとも、(C)モースの『贈与論』を読んでさえいれば、ワトソン博士ですらこの程度の推理は可能であったかもしれない。だが

これで一件落着というわけにはいかない。いや、バンヴェニストによる本格的な推理はまさにここから始まるのである。なぜならば、古代的な交換形態において与えることと受けとることが同義であったならば、いったいどこから「与える」ことと「受けとる」ことが正反対の意味をもつような経済行為が生まれてくるのだろうか？ 贈与と返礼のあいだの閉じられた **X** のなかから、いったいどのようにして「売り」と「買い」とを区別する「商業」なるものが生まれてくるのだろうか？

9 じつさい、バンヴェニストは、^アいくらしらみ潰しにインド⇨ヨーロッパ語族に属する言語を調べてみても、「商業」にあたる経済行為を示す共通の語根を見つけ出すことができないという。もちろん、これは古代において商業が存在しなかったということの意味するのではない。商業とは人類の歴史とともに古く、個々の民族はそれぞれ商業を意味する個別の言葉をもっている。だが、それにもかかわらず、これらの言葉からならんら共通する語根を見いだすことができないのである。

10 いや、それだけではない。たとえばラテン語において商業を意味する *negotium* という言葉を見てみよう。それはたんに暇 (*otium*) のない (*neg-*) ことを意味しているにすぎないことがわかるだろう。また、英語における *business*、フランス語における *affaire* という言葉を思いだしてみよう。それらも本来はたんに忙しい (*busy*) こと、あるいはやるべき (*a faire*) こと、という意味であつたにすぎない。商業を指し示すこれらの言葉がそれ自身にも明確な意味をもっていないということは、商業というものが共同体のなかにおいて本来じぶん自身を指し示す **Y** の名前をもっていないかつたということを物語る。

11 事実として存在した商業が名前として存在しないというこの矛盾。しかしながら、名探偵バンヴェニストは、まさにこの第二の矛盾のなかに「商業」にかんする真実を見いだすことになるのである。

12 すなわち、それは、「商業」とは古代的な共同体におけるあの互酬的な交換とはまったく別の出自をもっているという事実である。いくら共同体の内部の歴史を遡つてみても、商業なるものの起源を見いだすことはできない。商業とは、外国人や自由民といった共同体の外部の人間によって専門的に従事され、共同体と共同体のあいだを ^(二) チュウカイすることによって成立した活動なのだということである。

13 マルクスの言うように、「商品交換とは、共同体の果てるところで、共同体がほかの共同体またはその成員と接触する点では

じまった」のである。そして、このようにして成立した商業というものが共同体の外部から内部に侵入してあの「古代的な交換形態」を解体しはじめたとき、はじめて贈与と返礼とのあいだの閉じた X が「売り」と「買い」という二つの正反対の行為に分離されることになったというわけである。

4

14 E 「商業」という経済活動の出生の秘密は、まさにそれが名前をもっていないというふしぎな事実^(E)に隠されていたというわけである。たしかにこれは、ワトソン博士の手には負えない事件であつたにちがいない。

15 だが、共同体と共同体のあいだから生まれた商業という「名なし」の経済活動が、いったいどのようにして今まさに全世界をおおいつくしつあるあの「資本主義」という名をもつ経済体制に転化していったのかというさらに^(ホ)フクザツな秘密の解明には、どうやらバンヴェニストとは別の名探偵の登場を待たなくてはならないだろう。

(岩井克人の文章による)

(注) 1 グレゴリー警部 … イギリスの小説家アーサー・コナン・ドイルの短編小説『銀星号事件』に登場する人物。『銀星号事件』

は名探偵シャーロック・ホームズと助手のワトソン博士が登場する一連の「シャーロック・ホームズ・シリーズ」中の一作で、競走馬の失踪事件を題材とし、グレゴリー警部はこの事件を担当した警察側の人物である。

2 マルセル・モース … フランスの社会学者(一八七二—一九五〇)。

3 マオリ族 … ニュージーランドの先住民族。

4 マルクス … カール・マルクス。ドイツ出身の哲学者・思想家・経済学者(一八一八—一八三八)。

問1 空欄〔 a 〕 〔 c 〕に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号は

1

〜

3

。

a

1

① だから

② じっさい

③ たしかに

④ そして

⑤ もちろん

b

2

① だが

② つまり

③ こうして

④ ただし

⑤ なるほど

c

3

① けれども

② もっとも

③ このように

④ すなわち

⑤ あるいは

問2 破線部ア「しらみ潰し」・イ「出自」・ウ「成員」の本文中の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は ～ 。

ア 「しらみ潰し」

- ① 一生懸命取り組みすること
- ② 厳密に解釈すること
- ③ 残らず処理すること
- ④ 時間を十分にかけること
- ⑤ 几帳面に行うこと

イ 「出自」

- ① 言葉の意味
- ② 特定の身分
- ③ 事柄の原因
- ④ 事件のいきさつ
- ⑤ 物事のでどころ

ウ 「成員」

- ① 身分の高い人物
- ② ある団体に加わっている人物
- ③ 既に成人している人物
- ④ 集団をまとめる人物
- ⑤ 組織の中の有力な人物

問3

波線部(A)「この言語学者にシャーロック・ホームズばりの名探偵を演じてもらおうと思っている」とあるが、これはどう
いうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 7。

- ① 名馬銀星号の失踪事件でホームズが用いた謎の解明方法を当てはめながら、インド⇨ヨーロッパ言語の謎を解き明かしていくということ。
- ② バンヴェニストとホームズの分析が同等にもつ謎解きの力を利用して、現代の「商業」がいつどのように生まれてきたのかを推定すること。
- ③ 名探偵として知られるホームズと同等の知性をもつバンヴェニストの議論を土台として、「商業」の語義について分析を加えるということ。
- ④ バンヴェニストが「商業」に関連する語に加えた分析をホームズのような探偵の推理に見立て、「商業」の起源について考察すること。
- ⑤ グレゴリー警部とホームズのやりとりにならぶ要素をもつバンヴェニストの議論を応用して、「商業」の歴史について解き明かすということ。

問 4

波線部(B)「この一見した矛盾こそひとつの歴史的な事実にはかならない、とかれは推理する」とあるが、このようなバンヴェニストの推理について説明した次の文章の空欄 I、II、III に入れるのに最も適切なものを、後の各群の

①～④の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は 8、9、10。

ここでいう矛盾とは、同一語族内の I、II、III ことを指す。バンヴェニストはこれを単なる矛盾とは捉えず、II と考えた。彼は、III と考察したのである。

I 8

① 異なる言語間において同一の意味をもつ語に冠されている語根が、逆の意味をもつ語に冠されている場合がある

② 異なる言語間において意味の上では逆になる語であるにもかかわらず、同一の語根が冠されている場合が多い

③ 異なる言語間において同一の意味をもつ語にはすべて同じ語根が冠されているが、それが当てはまらない言語が存在する

④ 多くの言語は反対の行為を表現する語には異なる語根を冠しているが、それが当てはまらない言語が存在する

II 9

① かえってある真実を捉えている

② ある言語の歴史を体現している

③ 今残る言語の意味が正しいわけではない

④ 過去の人々の記憶の反映である

- ① モーアの『贈与論』の理論は言語学的に見て正しい
- ② 語根の両義性は古代の社会関係を示すものである
- ③ ヒットアイト語は古代社会の習俗を色濃く残している
- ④ 返礼という行為の呪術性が言葉に影響している

問5

波線部C)「モースの『贈与論』を読んでさえいけば、ワトソン博士ですらこの程度の推理は可能であったかもしれない」とあるが、筆者はここに至るまでの記述を通して何を言おうとしているのか。その説明として最も適切なものを、次の①

～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 11。

- ① モースの『贈与論』は言語学的な謎を解き明かす多くのヒントに満ちており、駆け出しの言語学者にとっても非常に役に立つ書物だということ。
- ② ワトソン博士はホームズと違って推理の能力が低く、ワトソンのように凡庸な筆者にとっては、『贈与論』を読まなければ謎が解けなかったということ。
- ③ ワトソン博士がモースの『贈与論』を正確に読めてさえいけば、「与える」と「受けとる」をめぐる謎が解けていたはずだということ。
- ④ バンヴェニストとモースは同じ質の発見をしたが、モースの『贈与論』を読むことで、バンヴェニストはよりの確な説を述べられたはずだということ。
- ⑤ 古代の交換における贈与と返礼の一体性の謎を、バンヴェニストが言語に対する観察から解き明かしたことは驚くべきものであるということ。

問 6

空欄

X

Y

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号は

12

13

X

12

- ① 門扉
- ② 習慣
- ③ 円環
- ④ 売買
- ⑤ 交際

Y

13

- ① 不変
- ② 固有
- ③ 同等
- ④ 行為
- ⑤ 真実

問7 波線部(D)「事実として存在した商業が名前として存在しない」とあるが、これはなぜか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 14。

- ① 商業とはある共同体における過去の歴史の中に見いだされるものではなく、共同体の外部の人間が名付けてもち込んだ行為であるから。
- ② 共同体内部での贈与と返礼が近代において貨幣の発明とともに変化し、貨幣の支払いをともなう交換という新しい行為になったから。
- ③ 商業は人々が自由な時間をもっていた古代においては生じえず、近代に入って時間意識や忙しいという観念ができてから生じた行為だから。
- ④ 商業とは共同体の外部から到来した他者との間に生じたものであり、共同体内部の人間にとっては外的な経験であったから。
- ⑤ 商業はもともと忙しさと表裏一体であり、忙しいということを否定的に捉えていた人々はそれを言葉にすることを避けていたから。

問 8

波線部(E)『商業』という経済活動の出生の秘密は、まさにそれが名前をもっていないというふしぎな事実には隠されていたとあるが、どうだろうか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 15。

- ① 共同体と共同体の間で始まったという商業の出生は、商業が名前をもたなかったことよって長いこと発見されず、そのためにモースやバンヴェニストがわずかな手がかりから説明する必要があったということ。
- ② 「売り」と「買い」という正反対の行為が共同体外部との間で生じたとき、「与える」と「受けとる」という行為は別のものに名前を変えてしまったのであり、こうした言語の起源の忘却が商業に名を与えなかったということ。
- ③ 商業が名前をもたなかったことと、「売る」ことと「買う」ことが分離したことは一つの歴史の流れの中に位置づけることができ、そのように歴史の中で捉えたときにはじめて商業の本質が理解されるということ。
- ④ 商業が名前をもっていないことと、「与える」と「受けとる」とが古い起源をもつ言葉であることは表裏一体であり、共同体の習俗を記録以前にまで遡ることで、はじめて言語の起源というものをつきとめることができるということ。
- ⑤ 共同体外部との接触において始まった商品の交換に商業の起源があるということを説明する手がかりは、商業を意味する共通の語根が存在しないという言語的事実の中に隠されていたということ。

問9 次の一文は、本文中のいずれかの段落の終わりに入るべきものである。この一文が入る段落として最も適切なものを、後

の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 16。

だからこそ、それは共同体の内部の人間にとって「暇ではないこと」、「忙しいこと」あるいは「やるべきこと」という消極的な言葉でしか指し示しえない事柄であったのである。

- ① 第11段落
- ② 第12段落
- ③ 第13段落
- ④ 第14段落
- ⑤ 第15段落

問10

本文は、番号のない前置きと1～4の番号が付されたまとまりで構成されている。本文における筆者の論の進め方として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

17

- ① 前置きと1は合わせて論全体の導入部に当たる部分を形成し、読者を話題に引き込む。2では「売る」と「買う」とが言語の起源の問題として追究される。3ではそれが古代社会の分析を通して敷衍^{えん}され、4で全体の論旨がまとめられる。
- ② 結論の一部をあらかじめ示す前置きにつき、1では以後の話の論理を解く鍵となるテーマを提示し、2は1の役割を言語を例にしながら述べている。3ではバンヴェニストの言語論が解説され、4では今後の展望が統括される。
- ③ 前置きでは導入として謎解きの鍵を、1では謎の出発点を示し、2では言語の分析を通して一見対立的な二つの行為について検討する。3では「商業」の起源と言語との関係を考察し、4で全体がまとめられ、別の問題の展望が示される。
- ④ 前置きから話題を転じた1では問題提起を行い、これを受けた2で小説の話とバンヴェニストの謎解きの並行性を論じる。3では『贈与論』の分析をバンヴェニストの論を参照しながら説明し、4で未来への提言がなされている。

問11 本文の内容を端的に表した題名として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

18。

- ① 商業の今日的価値
- ② 古代社会における交換の形態
- ③ 与えることと受けること
- ④ 商業には名前がなかった
- ⑤ ホームズとバンヴェニスト

問12 二重傍線部(イ)～(ホ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答

番号は
19
23。

(イ) カンシユウ

19

- ① 古い建物をシユウゼンする
- ② シユウモクが一致する
- ③ ビシユウを超越した芸術作品
- ④ 水路がアクシユウを放つ
- ⑤ 混乱のシユウシユウをはかる

(ロ) イライ

20

- ① 事態のスィイを見守る
- ② 全権をイニンする
- ③ 会社をイガン退職する
- ④ ヘイイな言葉で教える
- ⑤ イケイの念を抱く

(ハ) サギ

21

- ① 計画がサタやみになる
- ② 悪事をキヨウサした罪
- ③ 負のレンサが続く
- ④ 年齢サシヨウが発覚する
- ⑤ 検察がササツに入る

(二) チュウカイ

22

- ① 地図の道をチュウジツになぞる
- ② 記念貨幣をチュウゾウする
- ③ チュウシンからの感謝を示す
- ④ 仕事先にジヨウチュウする
- ⑤ 両者の実力がハクチュウする

(ホ) フクザツ

23

- ① フクム規程を整備する
- ② フクガンの検討する
- ③ 小説のフクセンを読み取る
- ④ フクシキ呼吸で発声する
- ⑤ フクリ厚生を拡充する

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えなさい。

都心を歩くと、X 正体不明の大行列に出くわす。先日も原宿で、女性ばかり数百人が並んでいた。整理にあたる男女

が首から下げた札が妙だった。〈関係者〉である。スタッフというのは何度か見たが、これは初めてだ。

A 記者なら避けたい言い回しの一つに、「関係者によると」がある。情報源を示すのにこれほど曖昧な表現はない。行列にあれ

これ指図する〈関係者〉も、どう関係しているのやら分からない。B どこかの店が雇うのだろうが、権限はあっても責任のない、

便利な肩書にみえる。

コンビニやファストフード店では普通、アルバイトは名札をつける。言動にはおのずと責任が伴い、客も安心できる。安全運

転のため、車にドライバー名を掲げる宅配業者も多い。

むろん「名無し」だから無責任とは限らない。詩人の谷川俊太郎さんが、東京新聞で無名性へのあこがれを語っていた。

「Y でも『読み人知らず』なんてのが、たくさんあるわけじゃないですか。ああいうふうに残っていくのが一番いい」。

例として挙げたのは〈空をこえて／ラララ星のかなた〉で始まるテレビアニメ「鉄腕アトム」の主題歌だ。〈科学の子〉が鮮烈なこの詞、谷川さんの作と知る人は博識の部類に入る。

言葉の巨人は、名より作品を語り継いでほしいと願う。広く長く口ずさまれた末に、「これ誰だっけ」と言われる幸せである。

黙々と良品を世に送る職人が味わうような、まじり気のない喜びであろう。B 責任論を突き抜けて、有名を超える無名。その高み

を、小欄も目ざしたい。

（『朝日新聞』二〇一〇年五月一五日 「天声人語」による）

問 1 空欄 に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 。

- ① かりそめにも
- ② しばしば
- ③ はたまた
- ④ もしかすると
- ⑤ なるほど

問2 波線部(A)「記者なら避けたい言い回しの一つに、『関係者によると』がある」とあるが、これはなぜか。その理由として

最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

25。

- ① 記事のテーマと情報源になった人物との関係を適切に示すことが、記者への信頼を高めることにつながるから。
- ② 真偽がはっきりしていない情報を流すことによって、匿名の情報提供者をかえって危険にさらす事態になるから。
- ③ 記事の執筆に際して、新聞記者は記事にはできるだけ明瞭な表現を用いるべきであるという教育を受けているから。
- ④ 情報源が明確ではない記事は責任の所在があやふやになるため、結果的に情報の信頼性が低下するから。
- ⑤ 発言は立場によって変化するので、事態の全容を読者に伝えるには取材源の人物の肩書を示す必要があるから。

問3 破線部ア「普通」とあるが、これを文脈を踏まえて言い換えた語句として適切ではないものを、次の①～⑤の中から選
び、記号で答えなさい。解答番号は **26**。

- ① 通常
- ② 大抵
- ③ 暫定
- ④ 一般的に
- ⑤ 原則

問 4 空欄 に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

。

- ① 万葉集
- ② 平家物語
- ③ おくのほそ道
- ④ 歌よみに与ふる書
- ⑤ 若菜集

問5 波線部B「責任論を突き抜けて、有名を超える無名」とあるが、このような存在に当たる本文に即した例として最も適切

なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は 28。

- ① 情報源をきちんと示すことができる記者
- ② 名札をつけて言動に責任を持つアルバイト
- ③ 安全運転のために車にドライバー名を掲げる宅配業者
- ④ 作者の名前とは無関係に作品が語り継がれる詩人
- ⑤ 黙々と良品を世に送り出しその道で名を成した職人

問6

本文の主旨として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

29。

- ① 新聞記者も言葉を使う点では詩人と同じであり、新聞が公的なメディアである以上、記者は記事の情報源についてきちんと責任を取る必要がある。
- ② 自らの功績を声高に主張することのない、匿名の作者による詩歌こそが真に普遍的な芸術作品であり、実は新聞記事にもそのような面が存在する。
- ③ 実名であれ匿名であれ、仕事では結果に対する責任を果たし、その上で仕事の質そのものによって自然に人々に受け入れられることを目ざしたい。
- ④ 良質の工業製品や芸術作品が埋もれることなく、万人に親しまれるためには無名性が重要であり、誰が作者であるかが重視されすぎてはならない。
- ⑤ 「まじり気のない喜び」とは、黙々と良品を世に送る職人が密かに味わうような歓喜であり、匿名で記事を書く新聞記者も目ざすべきものである。

問7 二重傍線部(イ)～(ホ)の品詞名を、後の①～⑧の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は

30

～

34

。

(イ) 女性ばかり数百人

30

(ロ) どこかの店が雇うのだろうが

31

(ハ) 責任のない

32

(ニ) 無責任とは限らない

33

(ホ) ああいうふうに残っていく

34

① 名詞

② 動詞

③ 形容詞

④ 連体詞

⑤ 副詞

⑥ 接続詞

⑦ 助詞

⑧ 助動詞

2020年度奨学生入学試験【国語】

『朝日新聞』2010年 5月15日「天声人語」

承諾書番号 20-2043

※上記記事に関して朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。